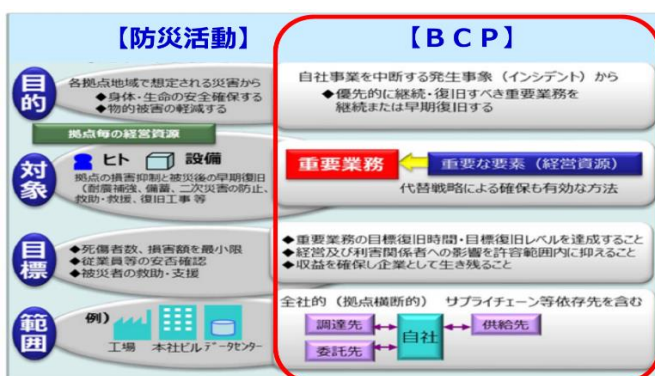


# 第121回 維持管理研究会 議事録

- 開催日時：2021年 8月19日(木) 16:00~17:40
- 場所：Zoomリモート開催
- 出席者(敬称略) 15名  
相原、上辻、小田、金子、熊沢、久保、澤田、清水、守護、菅谷、高橋、徳山、柳本、山下、中谷(記)
- 研究テーマ

Covid-19 蔓延中のなか、全国各地で水害の被害が発生しております。また小規模な地震も頻発している中であって、マルチ災害が想定されることから、今回の研究会では、防災対応とBCPに関する対応範囲や役割(各社の担当部門等)及び早急に組織内で遑るべきことについて、メンバー間で議論を行った。

## ■ 防災とBCP



### 【防災での主な取り組み】

- ・防災マニュアルの策定
- ・タイムライン(防災対応計画)の策定
- ・ソフトやハード面でのそれぞれの災害対策 など

### 【事業継続での主な取り組み】

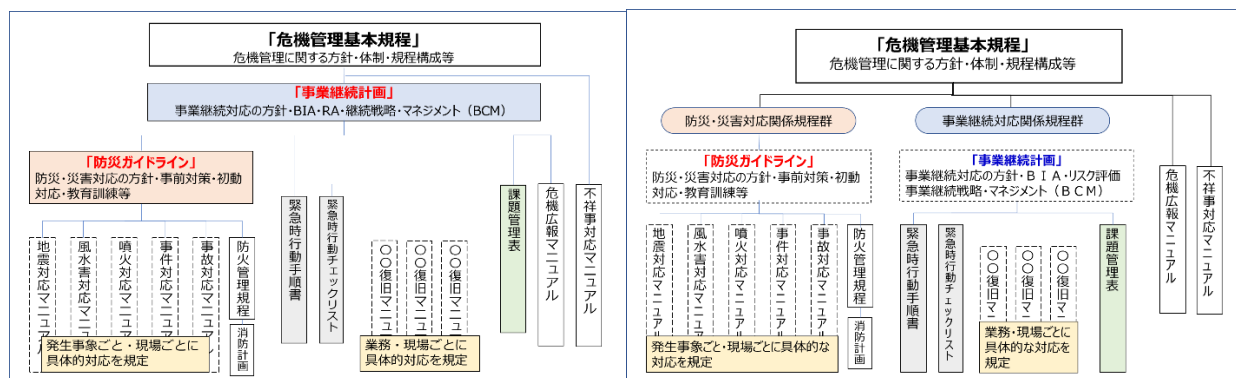
- ・BCP(事業継続計画)の策定
- ・危機管理対応
- ・リスクマネジメントの実施
- ・被災後の事業の復旧対応 など

防災とBCPを混同している企業が多くあり、防災マニュアルをBCPと呼んでいる企業があるとのこと。

参加メンバー企業においても、当初は防災とBCPが混在していて、経営トップに理解してもらうのに相当時間を要し苦労したが、現在はしっかり分けて順調に活動できている。

また某社では、防災マニュアルもなかったもので、そこから策定したので大変苦労したとの意見もあった。

## ■ 規定とドキュメントの位置づけ



企業内における、就業規則や人事評価等の位置づけは明確になっているが、防災やBCPドキュメントの位置づけを明確にしている企業が大変少なかった。

これは組織として、大変重要なことなので関連部門間で今後検討していく必要がある。

■ 緊急時の組織体制（例）



※リーダとしての必須行動

状況認識の統一、活動目標の共有、目標達成手段の合意、担当者を決定する。

現存の組織体制に各々の役割を割り当てて対応されている企業が大半である。

I C Sの基本機能を説明し、緊急時の役割を今居る人を割り当てる考え方（必要性）を理解してもらい今後前向きに検討し、訓練・演習を行いたいとの企業が見られました。

<次回予定>

・9月16日（木）16:00～17:30

以上